

(平成14年10月01日 宗宮メモ)

流域委員会 水質ワーキンググループ

委員 各位 殿

水質WG 龍谷大学 教授 宗宮 功

### 第1回水質WGの開催に当たり

水質WGに参加していただきよろしく申し上げます。同WGの開催時期ならびに検討内容について今のところの情報を簡単に連絡します。

第1回会合：平成14年10月01日

場所：アクネスネットにて

(水質WGの活動について)

#### 1. 本グループの使命

河川整備のあり方について流域委員会の考え方を最終報告に記述するなかで、水質(管理)のあり方、水質レベルの確保・保全方策などに関する原案作成する。

#### 2. 検討期間

最終提言とりまとめ作業部会が今本委員を中心として、今後3回開催され、最終会が10月24日となっている。これに水質関連事項の骨子を間に合わせなければならぬ。水質管理ワーキンググループとして、詳細な検討を実施する時間はない。

#### 3. 2週間内での作業手順について

10月1日	検討事項の明確化と方向性の決定
10月16日	メールないしファックスによる意見交換
10月17-19日	第2日ワーキンググループの開催 最終的提案内容の総合討論
10月24日	採取的提案の提示

#### 4. 水質ワーキンググループに出来ること。

(フリートーカー)

25 年後までの「河川整備計画」に書き込むべき、水質関連事項について例えば、

#### 目標設定

- (人と河川) 水に触れ合い、戯れる水辺の確保・・・泳げる水の確保
- (事業と河川) 安全な利水水源の確保と水辺の公開
- (生態系と河川) 豊かであつ固有の生態系保全を可能にする水質の確保

#### 具体的な対策

##### (国土交通省)

- 府・県・水道企業体など水質環境管理関連機関との連携・協働・情報交換
- 環境微量汚染物質の排出の監視・管理
- 統括的流域水質管理所の設定
- 異常水質・緊急事態の監視システム構築
- 水質の常時測定システムおよび掲示システムの構築
- 水辺の状態(植生、川幅、土手など)の常時監視と管理
- 河川レンジャによる現場監視体制
- 各種水利用機関との密接な情報交換システムの構築
- 面源汚濁負荷制御に対する対応
- 水域内での浄化機能向上に関する検討
- 水質変化に伴う水生生物相の変化に関する検討

##### (NPO,NGO との協働)

- 安全な水辺利用のため各種団体組織の協議機関の設置
- 現況生データの収集窓口(生態系関連、河川利用者、など)の整理とデータの管理

などを含んで考慮する必要がある。